



CATEYE PADRONE+



CYCLOCOMPUTER
CC-PA110W



- 取扱説明書は予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書（PDF）はホームページからご覧ください。
- ホームページに動画を交えて詳しく解説したクイックスタートマニュアルを用意していますのでご活用ください。

<http://www.cateye.com/products/detail/CC-PA110W/manual/>



自転車への取付け

コンピュータの
セットアップ

計測する

設定を変更する

警告・注意
製品保証など

自転車への取付け

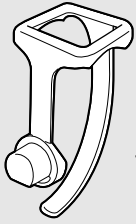


1
(1/3)

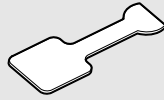


(2/3)

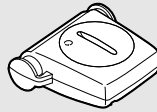
ブラケットバンド



ブラケット
ゴムパッド



スピードセンサー



マグネット



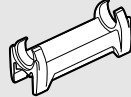
ブラケット



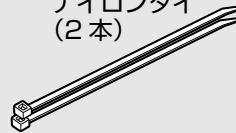
ダイヤル



センサーゴムパッド

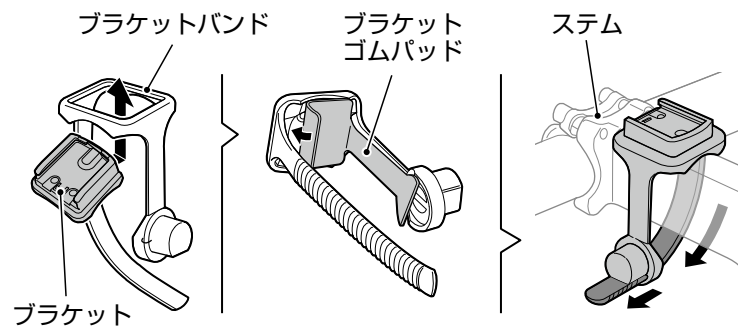
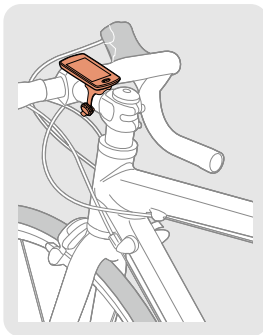


ナイロンタイ
(2本)

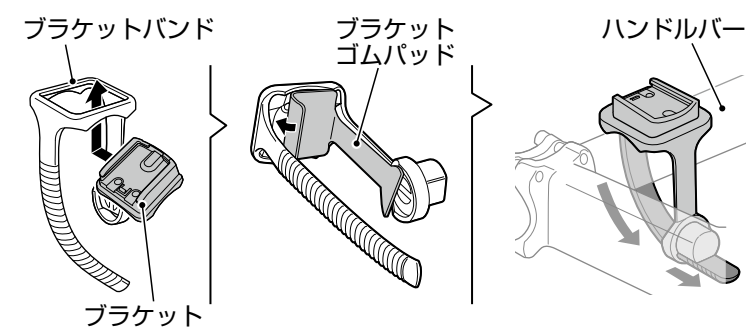
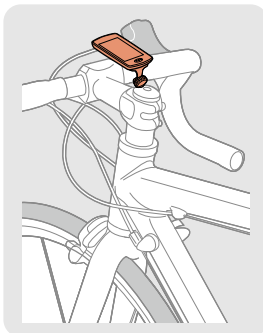


1 ブラケットの取付け

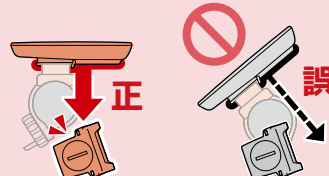
●ステムに取付ける場合



●ハンドルバーに取付ける場合



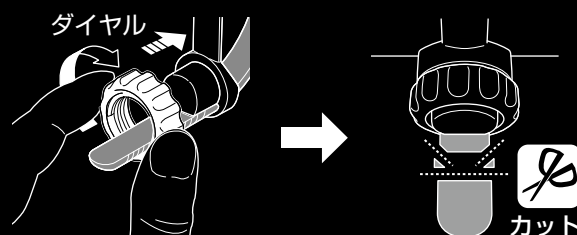
! ハンドルバーに取付ける場合は、
コンピュータ装着時にコンピュータ
底面がスピードセンサーを向くよう
にブラケットの角度を調節します。



取付後のバンド処理

⚠注意

ブラケットバンドは切口
でケガをしないように処
理してください。

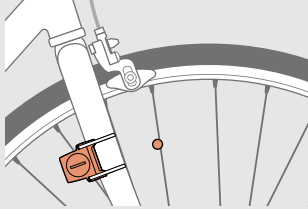




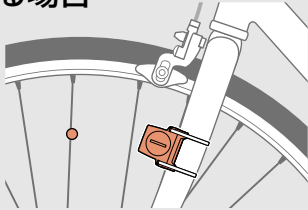
自転車への取付け

2 スピードセンサーの取付け

- 右フロントフォークに取付ける場合

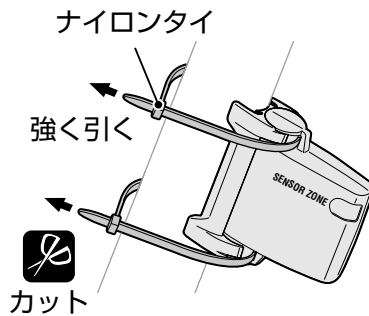
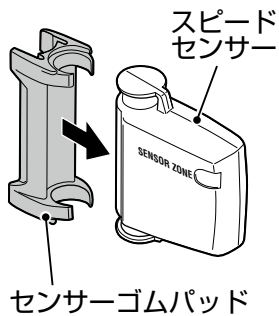
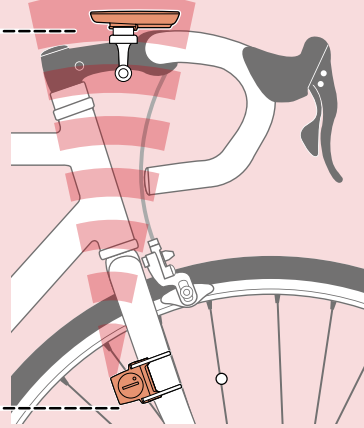


- 左フロントフォークに取付ける場合



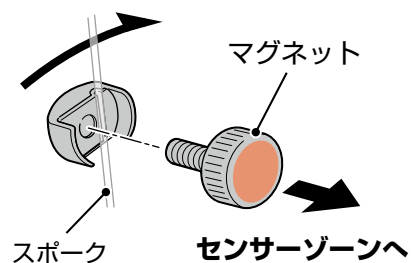
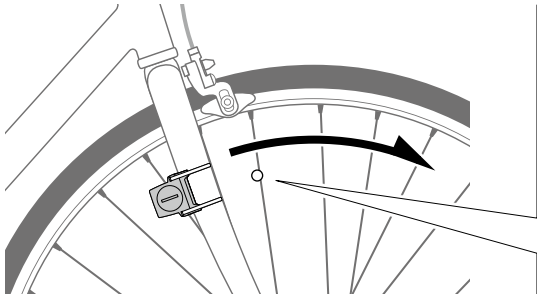
コンピュータからスピードセンサーまでの距離が送信範囲内に収まる位置に取付けます。

Max.
70 cm



※ センサーはできるだけフロントフォークの上方に取付けます。

3 マグネットの取付け

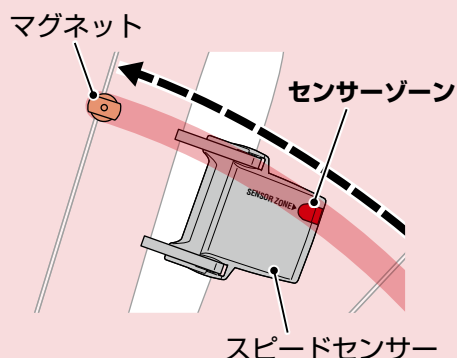




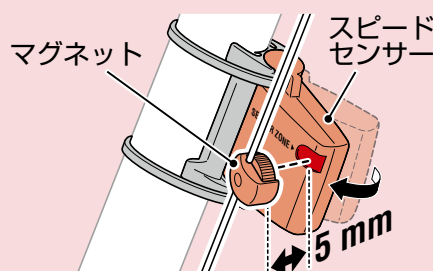
自転車への取付け

4 スピードセンサーとマグネットを調節します

❗ マグネットがスピードセンサーのセンサーゾーンを通過する。

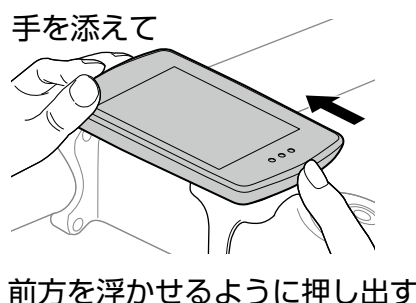
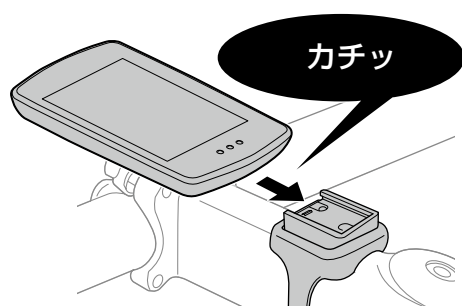


❗ スピードセンサー表面と、マグネットの隙間が 5 mm 以内である。



※ マグネットは取付条件を満たしていればスポーク上のどの位置にあっても問題ありません。

5 コンピュータの着脱



6 動作テスト

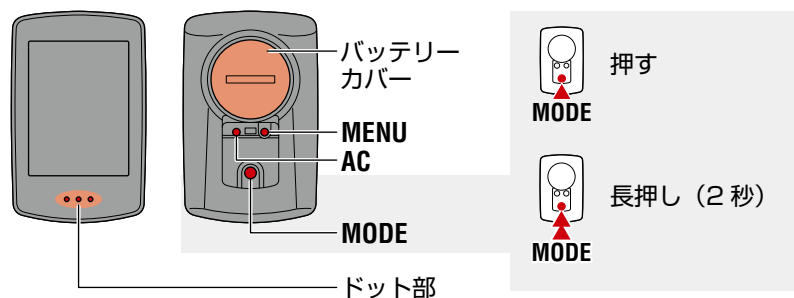
取付後、前輪を軽く回し、コンピュータに走行速度が表示されることを確認します。

表示されないときは手順 1・2・4 の取付条件 ❗ を確認してください。

コンピュータのセットアップ



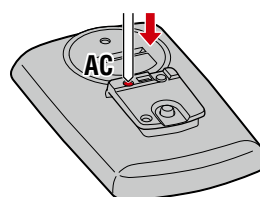
はじめて使用する
ときは、次の手順
で初期設定を行いま
す。



1 オールクリア（初期化）します

コンピュータ裏面の **AC** ボタンを押して
ください。

※ すべてのデータが消去され、工場出荷
状態に戻ります。



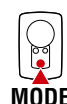
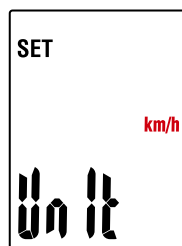
2
(1/2)



(2/2)

2 計測単位を選択します

「km/h」または「mph」を選択してください。



km/h ↔ mph

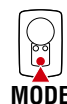
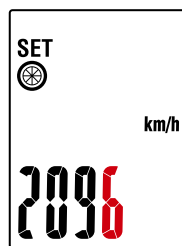


確定

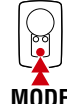
3 タイヤ周長を入力します

自転車の前輪タイヤ外周の長さを mm
単位で入力します。(100 – 3999 mm)

※ 「タイヤ周長について」(6 ページ)
を参照



数値増加



桁移動
(長押し)

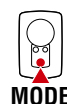
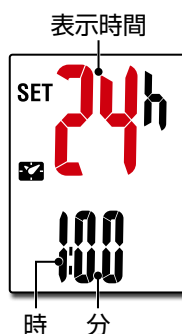


確定

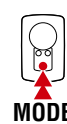
4 時刻を合わせます

MODE を長押しするごとに「表示時間」
→ 「時」 → 「分」 の設定に切替ります。

※ 12h 選択時は **A** (午前)・**P** (午後) を
確認しながら入力します。



24h ↔ 12h
または
数値増加



設定項目
切替
(長押し)

5 MENU を押して設定を完了します

セットアップが完了して計測画面に切替ります。

計測方法については「計測する」(7 ページ) をご覧ください。



設定完了

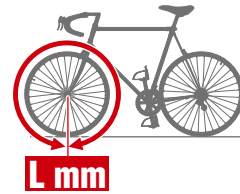
コンピュータのセットアップ

タイヤ周長について

タイヤ周長の求め方には、以下の 2 つの方法があります。

- **タイヤ周長 (L) を実測して求める**

タイヤの空気圧を適正にし、体重をかけた状態で、バルブなどの目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、その長さを測ります。



- **タイヤ周長ガイド**

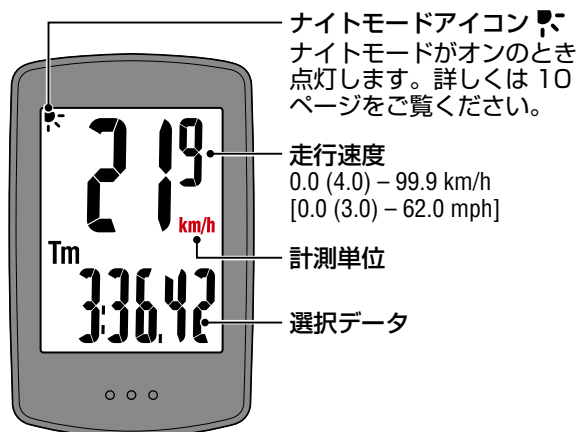
※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4 (369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965
25-520	24x1(520)	1753
	24x3/4 Tubular	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1(559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083

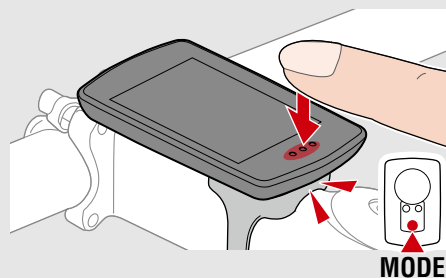
ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubular 26x7/8	1920
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1(571)	1952
40-590	650x38A	2125
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1(630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
40-584	27.5x1.50	2079
50-584	27.5x1.95	2090
54-584	27.5x2.1	2148
57-584	27.5x2.25	2182
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	700x23C	2096
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubular	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
56-622	29x2.2	2298
60-622	29x2.3	2326



計測する [計測画面]



ブラケット装着時の MODE 操作



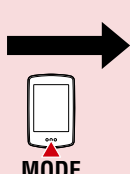
ブラケット装着時は本体ドット部を押すと MODE ボタンが押されます。

選択データの切替

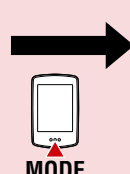
MODE を押すと下図の順に画面下段の選択データが切替ります。



走行時間
0:00'00" – 99:59'59"



走行距離
0.00 – 9999.99 km [mile]



平均速度 (※)
0.0 – 99.9 km/h
[0.0 – 62.0 mph]

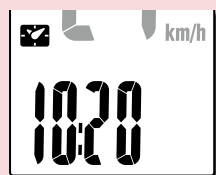


ストップウォッチ

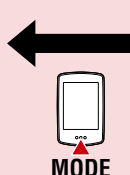
メニュー画面のストップウォッチ設定を ON にすると選択データにストップウォッチが追加されます。



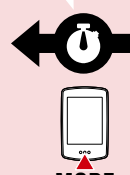
0:00'00" – 99:59'59"



時刻
0:00 – 23:59
または 1:00 – 12:59



積算距離
0.0 – 99999.9 km [mile]



最高速度
0.0(4.0) – 99.9 km/h
[0.0(3.0) – 62.0 mph]

※ Av は Tm 約 100 時間または Dst 9999.99 km を超えると .E が表示され計測できません。データのリセットを行ってください。



MENU

計測画面で MENU を押すとメニュー画面に移行します。
メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

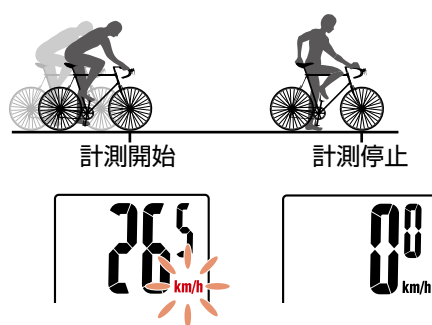


計測する [計測画面]

計測のスタート／ストップ

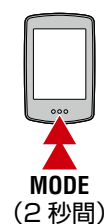
自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。

計測中は計測単位 (km/h または mph) が点滅します。



データのリセット

計測画面で **MODE** を 2 秒間押すと、積算距離 (Odo) を除く、すべての計測データが 0 に戻ります。



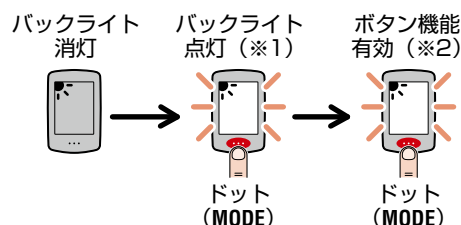
バックライト (ナイトモード)

メニュー画面のナイトモード設定で指定した時間帯にバックライトが点灯します。点灯方法は 5 秒間または常時を選択できます。

※ 電池残量が少ないとき (🔋 点灯時)、バックライトは点灯しません。

● 5 秒点灯選択時：

MODE を押すとバックライトが点灯します。点灯中に **MODE** を押すとボタン本来の機能が働き、点灯時間が延長されます。

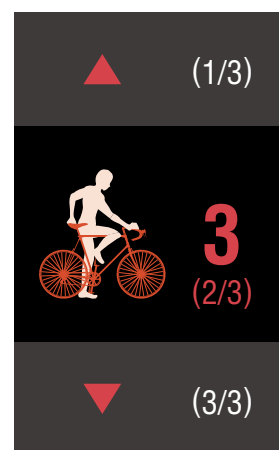
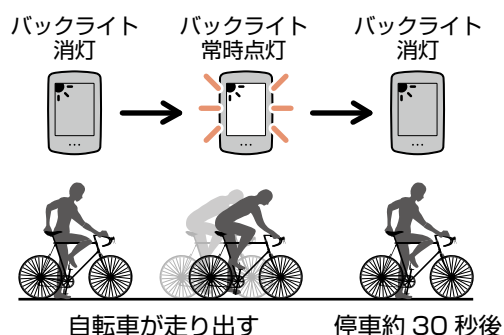


※1: **MODE** を押すとバックライトが点灯しますが、ボタン本来の機能は働きません。

※2: バックライト点灯中に続けてボタンを押すとボタンの機能が働きます。

● 常時点灯選択時：

自転車の走行中にバックライトが点灯して、停車の約 30 秒後に消灯します。



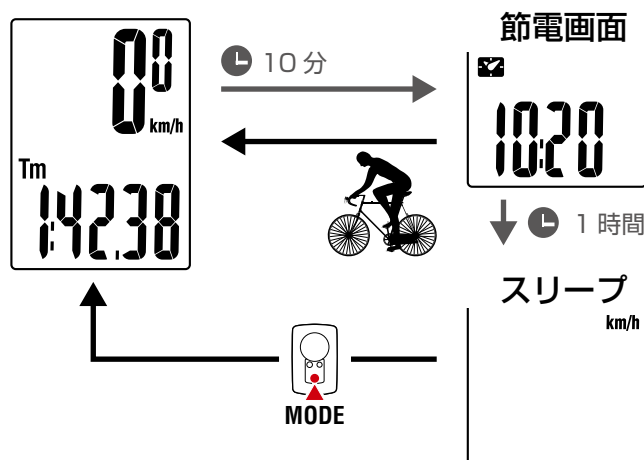
計測する [計測画面]

節電機能

約 10 分間信号が入らないと時刻表示だけの節電画面になります。

MODE を押すかセンサー信号が入ると計測画面に戻ります。

※ 節電画面からさらに 1 時間放置すると計測単位だけの表示になります。この状態からは **MODE** を押すことで計測画面に戻ります。



ストップウォッチ (🕒) の活用

計測のスタート／ストップに関わらずタイムをカウントするストップウォッチを表示できます。

ストップウォッチを使うには、メニュー画面のストップウォッチ設定を **ON** に切替えます。

設定方法については「ストップウォッチ設定」(13 ページ) をご覧ください。

ストップウォッチの操作

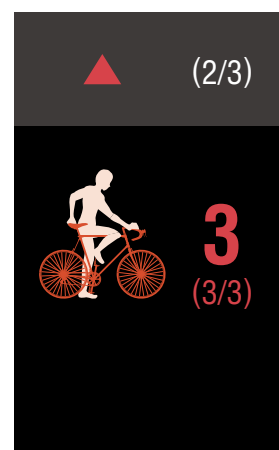


ストップウォッチ

スタート／ストップ	ストップウォッチを表示した状態で MODE を 1 秒間押します。 カウント中は 🕒 が点滅します。
リセット	ストップウォッチを表示した状態で MODE を 4 秒間押します。

※ ストップウォッチのスタート / ストップ、リセットの操作は計測とは別に単独で行い、他の計測には影響しません。

※ ストップウォッチは節電状態に関わらずカウントを継続します。カウント中はメニュー画面を除く、すべての画面で 🕒 が点滅します。



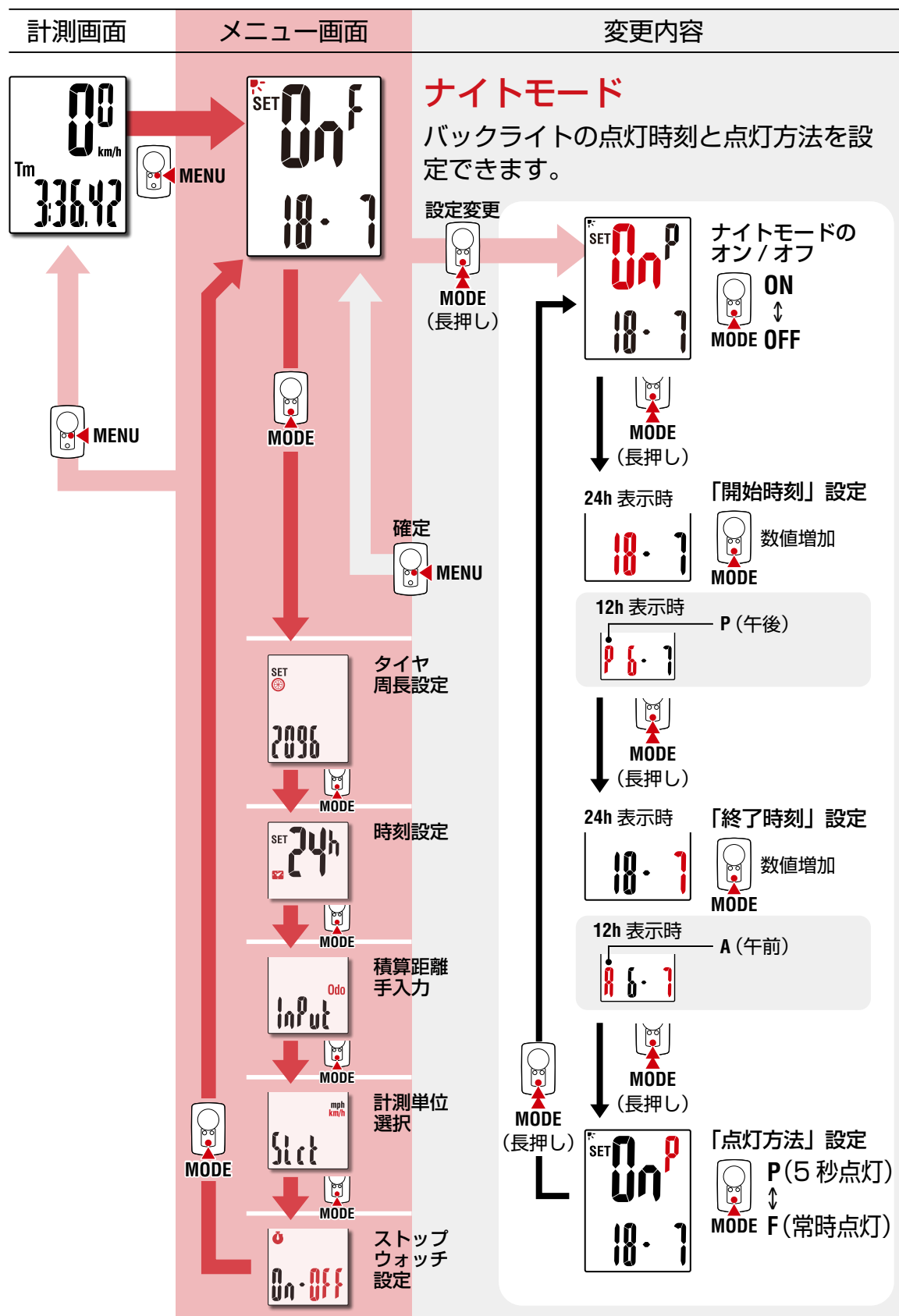
設定を変更する [メニュー画面]

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に移行します。

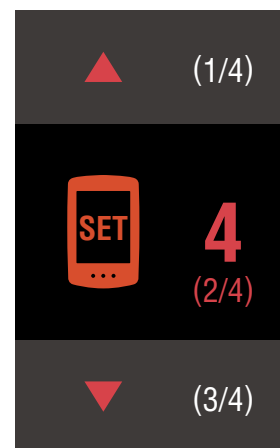
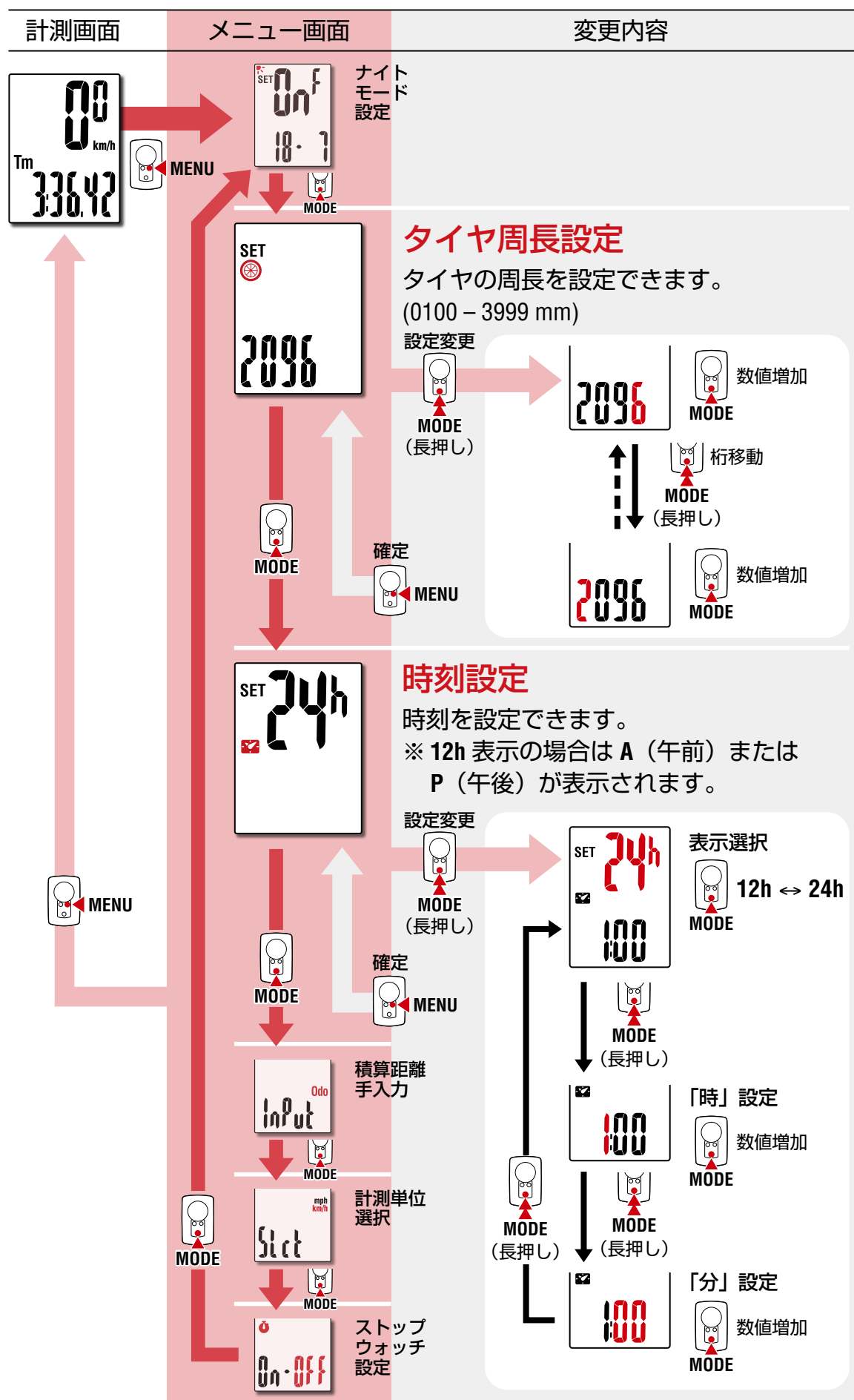
メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

※ 設定変更後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確認してください。

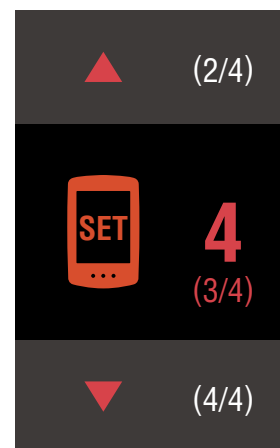
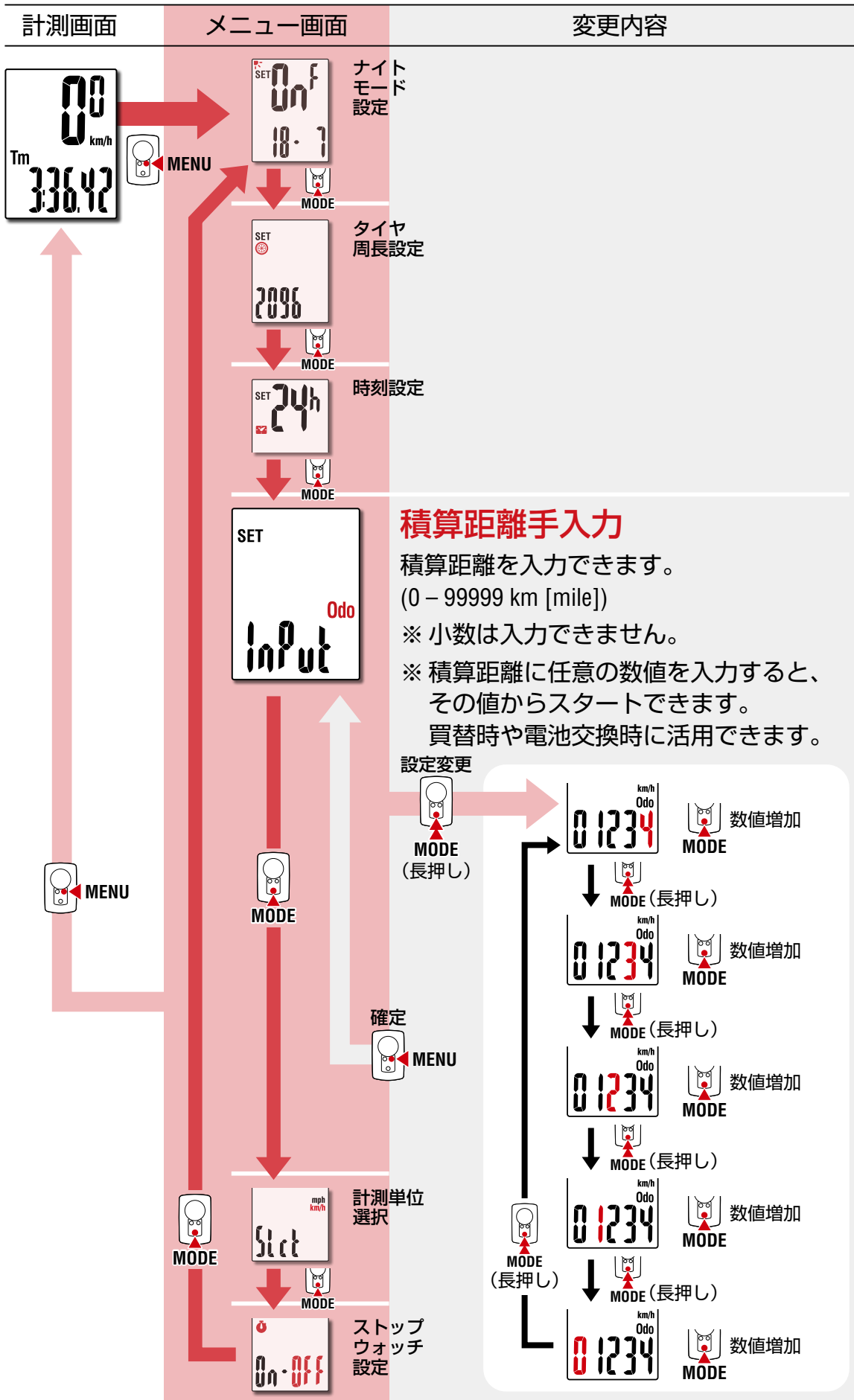
※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。



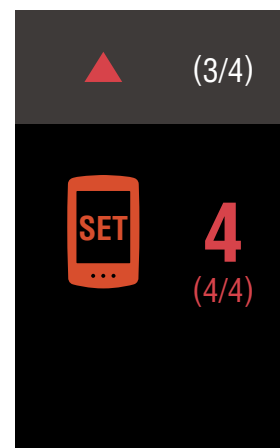
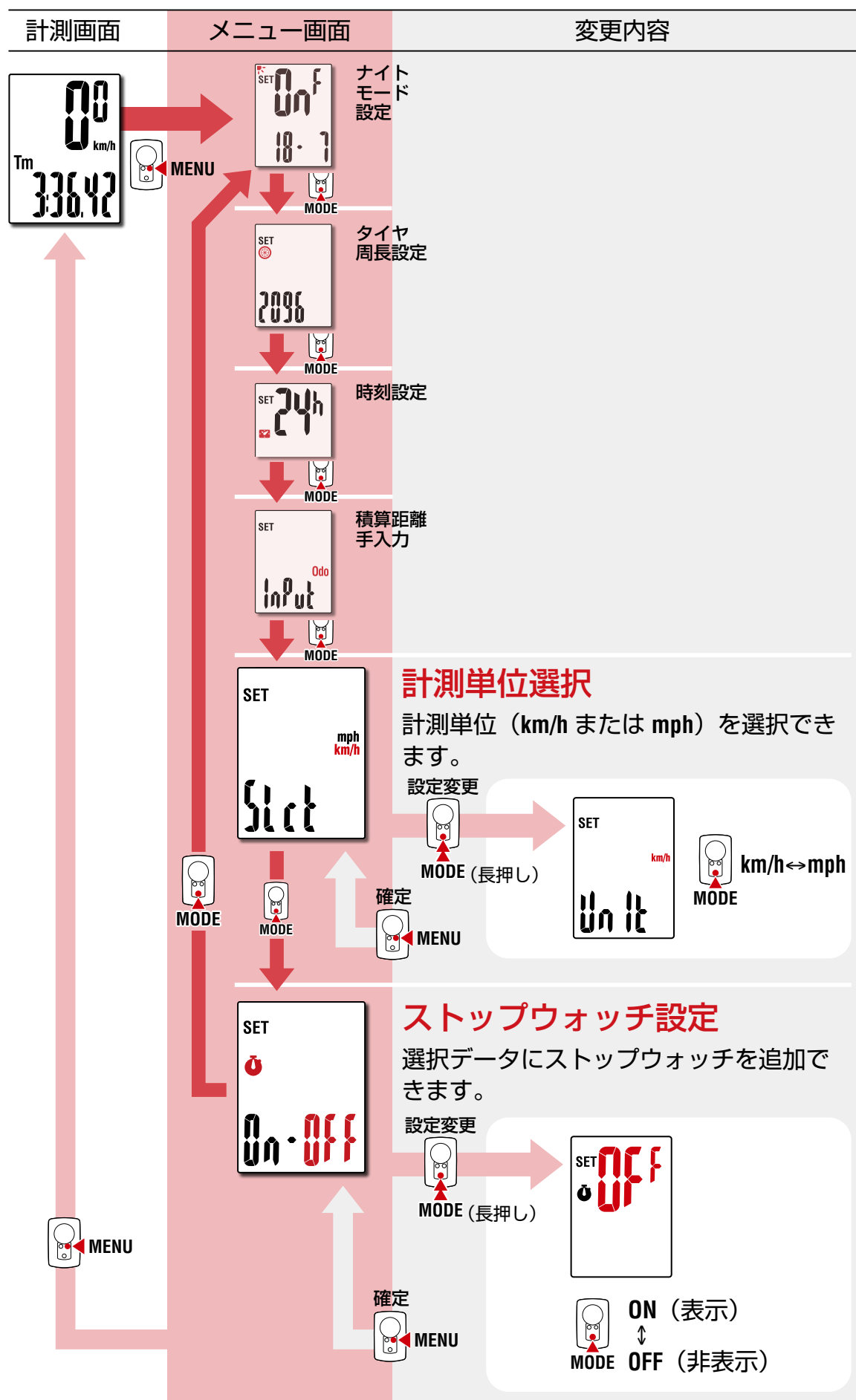
設定を変更する [メニュー画面]



設定を変更する [メニュー画面]



設定を変更する [メニュー画面]



その他

⚠ 警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットに装着した状態で **MODE** を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を押してください。
他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 指定以外の電池を使用すると破裂の危険性があります。
使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

ワイヤレスセンサーについて

センサーの信号は、混信を防ぐため受信距離が最大 70 cm に設計されています。
(受信距離はあくまでも目安です)

取扱いには次の点にご注意ください。

- センサーとコンピュータの間隔が離れすぎると受信できません。
- 受信距離は、気温低下、電池消耗でも短くなります。
- コンピュータの底面がセンサー方向を向いていないと受信できません。

次のような環境では干渉を受け、誤作動する場合があります。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内。
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など。
- 他のワイヤレス機器や一部のバッテリーライトと併用している場合。

その他

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

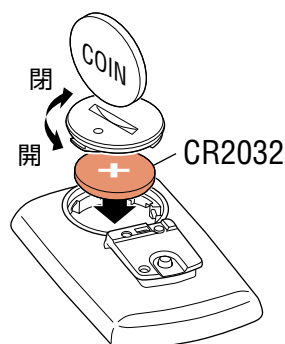
電池の交換

● コンピュータ

🔋（バッテリーアイコン）が点灯すると電池の交換時期です。新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が上面に見えるように挿入します。

※ 交換後は必ず「コンピュータのセットアップ」（5 ページ）の手順に従ってください。

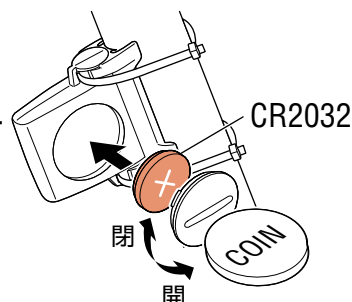
※ 電池交換の前に積算距離値をメモすると、交換後に手入力して積算距離を継続できます。



● スピードセンサー

正しい調整をしても速度を表示しない場合は電池の交換時期です。新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。

※ 交換後は「自転車への取付け」（4 ページ）手順 4 に従ってマグネットとの位置関係を調整してください。



トラブルシューティング

スピード表示が出ない。

● センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？
（間隔 5 mm 以内）

● マグネットはセンサーゾーンを通過していますか？
マグネット・センサーの位置を調節し直してください。

● コンピュータの取付角度は正しいですか？
コンピュータ底面がセンサーを向くようにしてください。

● コンピュータとセンサーの距離は正しいですか？
（間隔 20 ～ 70 cm 以内）

センサーの取付位置を範囲内にしてください。

● コンピュータまたはセンサーの電池が消耗していませんか？

※ 特に冬期は電池の能力が低下します。

コンピュータをセンサーに近づけて反応する場合は電池の消耗が原因です。

「電池の交換」の手順に従って新しい電池に交換してください。

ボタンを押しても全く表示が出ない。

「電池の交換」の手順に従ってコンピュータの電池を交換してください。

異常な表示が出る。

「コンピュータのセットアップ」（5 ページ）の手順に従ってオールクリアしてください。これまでの計測データはすべて消去されます。

▲ (1/3)

その他 (2/3)

▼ (3/3)

その他

製品仕様

使用電池 電池寿命	コンピュータ	リチウム電池 (CR2032) × 1 ● バックライトを点灯せずに 1 日 1 時間使用した場合： 約 1 年（使用環境により異なる） ● バックライトを常時点灯して 1 日 1 時間使用した場合： 約 2 ヶ月（使用環境により異なる）
	スピードセンサー	リチウム電池 (CR2032) × 1 積算距離で約 10000km [6250 mile]

※ 気温 20℃ でセンサー・コンピュータ間 65 cm に取付けた時の平均値。
※ バックライトを多用するとコンピュータの電池寿命は極端に短くなります。
※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。

制御方式	4 bit 1- chip マイクロコンピュータ (水晶発振器)
表示方式	液晶表示
検知方式	無接触磁気センサー
送受信距離	20 ～ 70 cm の範囲
タイヤ周長範囲	0100 mm ～ 3999 mm (初期値 : 2096 mm)
使用温度範囲	0℃ ～ 40℃ (動作保証範囲 : 範囲外は表示の視認性が悪化します)
寸法・重量	コンピュータ 67.5 x 43 x 15.6 mm / 33.3 g
	スピードセンサー 41.5 x 36 x 15 mm / 15 g

※ 当製品は、自転車での使用を前提に開発されています。
※ 仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年間保証 : コンピュータ / センサーのみ (付属品及び電池の消耗は除く)

正規小売店でご購入いただき、正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。修理のご依頼にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できるレシートなどを添えて、当社宛に直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。ネットオークションを含む全ての転売品、事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

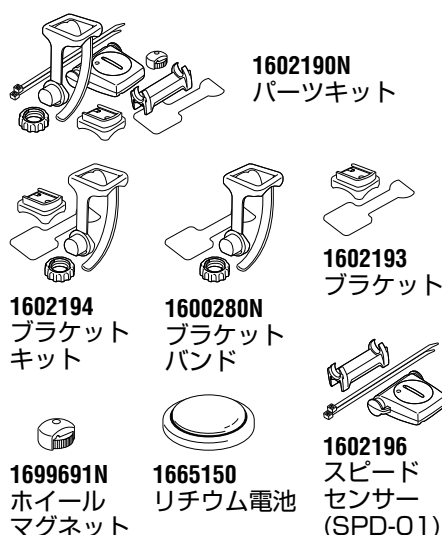
ホームページ上でこの製品のユーザー登録が行えます。
ご登録いただくと、ご希望によりメールマガジンを配信させていただきます。

<http://www.cateye.com/jp/support/regist/>

[宛先]

株式会社 キャットアイ カスタマーサービス
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL : (06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX : (06)6719-6060
ホームページ : www.cateye.com
E メール : support@cateye.co.jp

標準部品



オプション部品



▲ (2/3)

その他 (3/3)